

秋まつりアンケート結果ダイジェスト版

設問の中から 1 理解を深めるために必要なこと 2 障がい者施策として重要だと思うものへの回答は、項目を選んだ人の数で結果を表しています。3 八千代町にあったらいいな 4 障がい者福祉について知りたいことへの回答は、記載頂いた文章で表しました。3、4 は他にも多くの回答や質問も寄せられました。質問などに応える特集コーナーを今後企画したいと思います。



はこい
じこっ
めから
ようら
うよ
に



八千代町地域自立支援協議会



1. 障がいのある人への理解を深めるために、必要だと思うもの

地域イベントでの交流	47
テレビでの情報発信	45
障がいのある方のイベントへの参加・協力	45
小中学校における交流	44
学校で知識を学ぶ	40
町の広報誌	34
ボランティア	33
障がいのある人からの情報発信	32
SNSでの情報発信	29
障がい福祉の講座	25

2. 障がい児・者施策として重要だと思うもの

早期発見	52
特別支援教育の充実	34
就労の場の確保	32
こどもの療育の充実	28
サービスの充実	27
相談支援の充実	27
移動・交通手段	26
経済的安定	25
コミュニケーション手段の確保	25
バリアフリーの町づくり	23
心のバリアフリー	21
ボランティア活動の推進	19
スポーツ・趣味の活動の充実	12
情報取得手段の充実	12
権利擁護体制の充実	10
その他	0

3. 八千代町にあったらいいな！と思うこと

皆で自由に集う場所。年齢とわずに。
障がい者の方との交流スペース
障がいがある子たちがもっと学べる所があればいいかな！！
障がい者の方の趣味のサークルやイベント
子育て支援の充実
ボランティア活動(3)
マラソン大会
グループホーム、ショートステイを増やしてほしい
交通手段
障がい者の買い物、車の手配の充実
宅配サービス
基金
就学前の児童への手厚い支援。福祉・教育部局の連携。
利用している。公園の夜のライトがあればよいです。
しあわせになりたい
障がい者にとって情報発信をとぎれなくしてほしい
災害時の支援(5)
就労の場(2)

4. 障がい者・児福祉について知りたいことはありますか。

障がい者の方にどのように接したらよいか。
学校卒業後、どのように地域になじんでいったらよいか。
ヘルプカードについて知りたいです。
知らないことが多すぎて発信力を大いに希望。
どのようなサービスがあるのかが不明なので、チラシを入れてもらいたいです。



八千代町秋まつりに初参加！

令和4年 11 月12日、コロナ禍が長引く中、3年ぶりに八千代町秋まつりが開催されました。

八千代町地域自立支援協議会も秋まつりに参加し、協議会の活動内容について広報紙「ここだより」を掲示してお伝えしました。また、来場者の皆さんへ地域福祉や障がい福祉についてのアンケートを行い、137 名の方から回答をいただきました。

設問2「障がいのある方への理解を深めるために必要な事は？」の回答でもっとも多かったのは「地域イベントでの交流」で 47 人、「TV での情報発信」「障がいのある方のイベントへの参加・協力」が 45 人という結果でした。

設問3「障がいのある人にとって困難だと思うこと」では、災害時の避難(62 人) 仕事(58 人) 外出(54 人) 交通手段(47 人) という結果でした。

設問6「八千代町にあったらいいな！と思うこと」には、みんなで自由に集う場所・障害のある方が気軽に活動できる趣味のサークルやイベント・ボランティア活動・もっと大きな病院・偏見や差別のない町づくり・就学前の児童への手厚い支援・災害時の支援・就労の場など、たくさんの回答が寄せられました。

※4 ページにアンケート結果ダイジェスト版があります

編集後記

令和 4 年度下半期は、講演会や秋まつり、つどいなど数々のイベントがあり、多くの地域の方々と交流の機会をもつことができました。つどってくださったみなさま関係者のみなさま ありがとうございます。

発行者：八千代町地域自立支援協議会

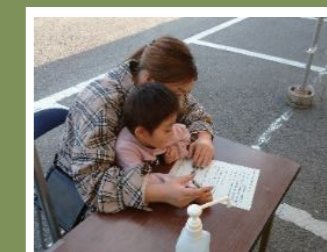
発行日：令和5年2月15日

問合せ：八千代町保健福祉部
福祉課障がい福祉係

TEL 0296-49-3941

FAX 0296-48-4371

八千代町地域自立支援協議会は、誰もが暮らしやすい地域社会を作るために、悩みのある人や困っている人、地域の人、みんなが話し合い、共に考え行動することを目的としています。





講演会報告

令和4年9月3日(土)八千代町農村環境改善センター会議室において「障害年金の基礎知識」と題して社会保険労務士 荒井徹先生に講演をいただきました。

ご存じですか 障害年金

●障害年金は、病気やケガで働くことに制限が生じたり、日常生活を送るのに支障がある方が、もらえる制度です。

●「現状では、制度をご存じなく、多数の方がもらい損ねていると言われております。」との言葉から講演がスタートしました。障害年金は自分から申請しないともらえないということを広めてほしいと、先生はおっしゃいます。申請の仕方について記入漏れや間違いの多いこと・診断書を依頼する医師への病状の伝え方・子供の頃は受診して中高生で受診しない場合18歳くらいから受診を再開して障がいの状況をわかってもらうこと・障害年金には更新があること・障害年金の申請においてもっとも重要なことは「初診日」・・・などがあげられました。

実際の事例を紹介しながら具体的な障害年金の手続きについてお話がありました。およそ30名の参加者の方から障害年金の詳しい内容がよくわかったとアンケートに感想をいただきました。

また、質問もたくさん寄せられました。その一部をご紹介します。

Q 診断書を医師に書いてもらう時の留意点について

A 病気の状態をきちんと伝える事、日常の様子、特にできないことを詳しく伝える、そのためにメモをしていく。

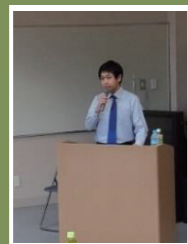
Q 申立書の書き方のポイント

A 箇条書きでOK。出来ないことだけ書く。生まれた時から書くときもある。例えば友達ができなかった、言葉がなかなかでなかった、いつも動き回って落ち着きなかった、など一つの枠に4つくらい箇条書きで書く。

Q 現に障害年金を受給していて更新されないことはあるか？

A 本人が更新しない場合。病状(障がい)が大きく改善されない限り更新されないことはない。医療機関が変わってこれまでの様子がわからなくなならないように診断書はコピーしておく。

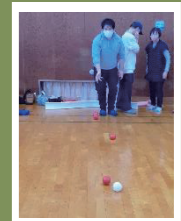
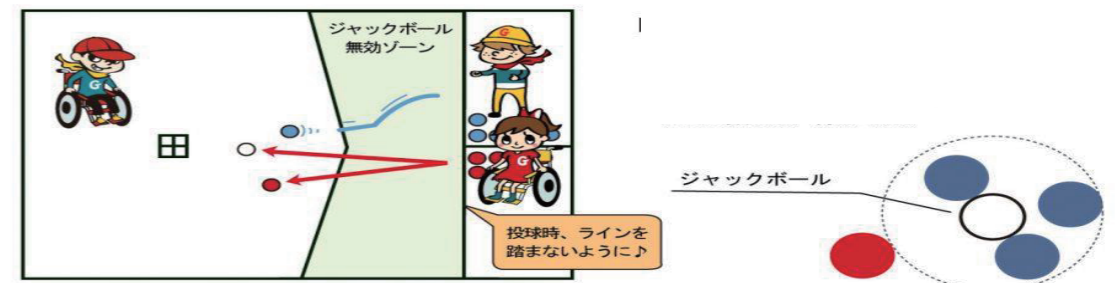
障害年金は眼の障がい、聴覚の障がい、呼吸器疾患、心疾患、腎疾患・肝疾患、その他(悪性新生物等)による障がいなどでも請求することができる事も講演で知りました。



ボッチャ大会しました



令和4年10月29日(土)午後、約一年ぶりに「集おう、おしゃべりしよう！」第10回を開催しました。今回は、東京パラリンピックでお馴染みになった“ボッチャ”を行いました。初参加のあじさい学園寮の皆さんを交えて、6つのチームに分かれて対戦しました。白いジャックボールに青ボールチームと赤ボールチームが順番にボールを投げたり、転がしてジャックボールに一番近いチームが勝ちとなります。総当たり戦の結果、勝ち数が同数だった2チームで決勝を行い、とても盛り上がりました。ボールを思うような所へ寄せたり、相手ボールを当てて飛ばす技が出るなど、実際にやってみて奥が深く、技と知恵を必要とする難しいスポーツだと感じました。是非またみんなでやりたいと思いました。今回のボッチャ大会は下妻特別支援学校の用具協力により行うことが出来ました。ご協力ありがとうございました。



「第11回 集おう、おしゃべりしよう！！」

いろいろな思いや経験を誰かに話したり、互いに聞いたり
少し身体を動かしたり・・・交流できる場を一緒に作りませんか。

日時 令和5年3月11日(土) 1:30~3:30

場所 農村環境改善センター

内容 輪投げ大会 おしゃべりを楽しむ

参加費 100円(保険・飲み物代)

申込み 八千代町福祉課 TEL0296-49-3941

FAX0296-48-4371 ※または窓口で

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、中止される場合もあります。